

## はじめに

近年、テレビ、ゲーム、インターネット、携帯電話などの様々な情報メディアの発達や子どもの生活環境の変化等により子どもの読書離れが指摘されています。

平成18年度の焼津市立図書館の利用状況を見ると、小学生の貸出冊数が37,740冊、中学生9,233冊、高校生5,973冊となっており、中学生以上の読書量が急激に減少しています。

読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。また、子どもの読書習慣は、日常の家庭の中で、まずつくられるものであり、家庭の読書環境が大きく影響しますが、より豊かな読書活動を進めていくには、家庭を取り巻く地域や学校での環境整備も極めて重要です。

このような中で、子どもの読書活動推進のための取組みを進めていくため、平成13年12月に「子ども読書活動の推進に関する法律」が公布・施行され、これに基づき国は、平成14年8月に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」を策定し、次いで県は、平成16年1月に「静岡県子ども読書活動推進計画」を策定しました。

以上のことを踏まえ、焼津市としては、これまでに学校、幼稚園・保育園、保健センター、公民館、図書館等子どもの集まる施設で個々に実施していた読書活動を整理し、連携させることによって、さらにその効果があがるのではないかと考え、今回「焼津市子ども読書活動推進計画」を策定することにいたしました。

焼津市では、今後この計画に沿って、主体性と豊かな心をもつ子どもを育むために(第4次焼津市総合計画教育文化分野の大綱)、子どもの読書活動を積極的に推進してまいります。

本計画の策定にあたり、「焼津市子ども読書活動推進計画」策定委員会の委員、作業部会員の皆様をはじめ、貴重な意見をいただきました多くの市民の皆様に深く感謝いたします。

平成19年7月

焼津市教育長  
永 田 實 治